

『専門性の追求と人生の選択の両立』 Executive Summary

2016/11/24 第4回ビジョン検討会  
構成員：山内 英子、鈴木 英敬、裴 英洙\*

【目指すべき姿】(再掲)

- ・ 子育て等のライフコースの選択によらずプロとして働き、生涯を通じて専門的な能力（プライマリケア含む）を向上し続けられる
- ・ ニーズの変化や時々の選択意思に応じて、複数の職種へ従事できるなど柔軟なキャリアの選択が可能となる
- ・ 医療機関での人材マネジメント（評価・待遇・労務管理等）が確立される

【課題・イシュー】(再掲)

- ・ 多様なライフコースの選択に対応したキャリアトラックが明確に定義され必要な環境や支援策が講じられているか
- ・ 特に障害となっているライフイベント（境遇）はどのようなものか
- ・ 従事者本人の希望やニーズが的確に把握・分析されているか
- ・ 本人の状況や意思に応じた柔軟なキャリアの選択を行うための制度的・技術的環境が整えられているか
- ・ 医療機関におけるマネジメント能力向上の手法や機会は整備され評価されているか

【3つの視点】

1. 現場の視点：当事者である医療職が何を考え、何を望むのかがスタート
2. 行政の視点：面として支える役割として“すべきこと”と“できること”を明確に
3. 経営の視点：キャリアや労働環境の舞台である働く場所の運営は無視できない

【4つのメッセージ】

1. 本人意思の明確化
  - (ア) 考えられ得るキャリアコースの周知と理解
  - (イ) 本人の意思の確認（キャリアは有機的に変化するものと理解）
2. 制度的環境の整備
  - (ア) 労務環境の法的整備
  - (イ) 子育て・介護者等に対する職場整備のための支援
  - (ウ) 新たな診療体制の整備
  - (エ) 専門診療科選択の設定および調整
3. 技術的環境の充実
  - (ア) プロフェッショナルへの技術習得の機会
  - (イ) 医療の担い手の見直しと多様化
  - (ウ) チーム医療推進のためのコーディネーター機能の充実
4. 働く場所の改革
  - (ア) 経営層の意識改革
  - (イ) キャリアの在り方に関して人事考課や労務管理の進化
  - (ウ) 提供価値に見合った適切な評価

【発表内容】

1. イントロダクション
2. 専門性の追求と人生の選択の両立 ～現場医療職の視点から～ (担当：山内構成員)
3. 専門性の追求と人生の選択の両立 ～行政の視点から～ (担当：鈴木構成員)
4. 専門性の追求と人生の選択の両立 ～経営の視点から～ (担当：裴構成員)
5. まとめ (担当：裴構成員)